

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成 31 年 3 月 8 日

事業所名 GYM'sステップ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員以上にならない	スペースが確保できている。
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な人数を配置	目が行き届く職員数の配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内に段差無し	棚の角にクッション材を付けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	職員間の連携を行っている	継続していくのか決めていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今年度より開始	アンケート結果から話し合いを行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今年度よりHPで公開	今年度よりアンケートを開始。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今年度より実施	アンケート結果から話し合い、改善に努める。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		週1回の会議を行う	社内会議等で話し合う。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		各自面談を行っている	今後も保護者様と連絡や面談をし、更に良い支援を行えるようにする。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		各自モニタリングを行っている	モニタリングの結果に基づき、会議等で話し合いの場を設ける。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行っている	アンケート結果から話し合いを行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		行っている	療育内容が偏らないように話し合いを行う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		行っている	学校休業日等は外出先での時間が長い為、課題を設けている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動を行ってから集団活動を行っている	児童の体調や下校時間により活動を行う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を実施	職員全員でよりよい支援が行える様に協力をして業務を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日実施	一日の業務終了後、本日の反省点や出来事を出し合う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日実施	一日の業務終了後に記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		実施している	毎日の様子のモニタリングを元に話し合いを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		実施している	ガイドラインに沿って行っている。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○		現場支援員が実施	今後も支援員が会議等での情報を元に行う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	○		実施している	それぞれの学校と連携を持ち、支援していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		○	実施していない	ケアが必要な児童がいないが、今後必要であれば検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		○	実施していない	就学前の児童がいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している		○	実施していない	高等部3年の児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	○		実施している	研修会等に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	○		実施している	公園等の外の施設へ出かけ、様々な児童と関わ りを頂いている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	○		実施している	研修会等に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○		実施している	保護者様と今後も密に連絡、面談をし、よりよい 支援ができるようにする。
保護者へ の説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		○	実施していない	今後検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている	今後も周知して頂ける様に説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	○		実施している	保護者様からの相談を聞き、その場で助言でき るものはする。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		○	以前は行っていた	今後検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	○		実施している	ご意見等を頂いた際は職員全員が周知し、対応 する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	○		毎月実施	活動内容を理解して頂ける様に資料を配布して いる。
	35	個人情報に十分注意している	○		実施している	個人情報等は鍵付きの棚に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮している	今後も行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		○	実施していない	今後検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		周知している	避難訓練を行い、緊急時に備えた対策を実施。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している	半年に1回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		対応している	虐待防止等の資料を設置し、職員全体で周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	実施していない	今後検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		実施している	契約時にアレルギー等の同意書を頂く等の対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		実施している	ヒヤリハット報告書等、職員に情報を周知できるようにまとめている。